

《担当者名》奥田 かわり k-okuda@hoku-iryu-u.ac.jp

【概要】

現代の日本における精神保健に関する様々な個別課題への取り組みや地域における精神保健医療福祉活動の実際に関する知識を深め、精神保健福祉士の活動内容を理解することを目的とする。

【学修目標】

現代社会における精神保健に関する様々な課題について、どのような取り組みがなされているか、要点を説明できる。精神の保健に関する時事的な出来事に関して説明ができ、意見が述べられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 精神保健の歴史	学習の目的・内容の説明 精神保健への関心について意見を述べる。 精神保健学 で学んだ精神保健の歴史的背景を振り返る。	奥田
2	家族に関する精神保健の課題と支援	現代日本の家族の特徴を知り、家族の抱える問題について理解する。 ジェノグラムやエコマップなどを使いながら事例の家族の特徴・現状について説明できる。	奥田
3	家族に関する精神保健の課題と支援	家族が抱える問題への支援について理解する。 家族問題へ取り組むときに必要な社会保障制度、資源について調べる。	奥田
4	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ	学校、教員が抱える精神保健の課題（不登校、いじめ、子供の自殺）について理解する。 現代の小・中・高校の生徒・教員が抱えている問題についてどのようなことが要因となっているか客観的に判断し説明できる。	奥田
5	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ	学校現場への支援について理解する。 学校現場にはどのような支援が存在するかを調べる。 またどのようなサポートがあるとより生徒・教員が学校生活を送れるかをグループディスカッションを通じて批判する。	奥田
6	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ	現代勤労者の特徴、抱える課題について理解する。 近年の時事的な勤労者に関係する社会的現象について説明する（新聞等からこの問題に関する記事を探し、発表する）。	奥田
7	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ	勤労者、職場内への支援について理解する。 精神科医療で実際に行われているプログラムなどについてどのようなものがあるか調べ、批判する。	奥田
8	精神保健に関する予防と対策	発達障害に関する対策と支援について理解する。 発達障害を抱えて生きる当事者の事例を使いグループで支援について検討する。既存の社会資源について批判する。	奥田
9	精神保健に関する予防と対策	うつ病と自殺防止について理解する。 グループディスカッションを通じてうつ病の予防・早期発見、早期治療についての現状について批判する。	奥田
10	精神保健に関する予防と対策 精神保健に関する専門職種	精神障害者に関する就労プログラム（リワーク）について理解を深める。 精神科クリニックデイケアでの精神保健福祉士の役割について学ぶ。	前田英樹（特別講師） 奥田
11	精神保健に関する予防と対策	アルコール依存症当事者またその家族の経験を基に支	高橋哲也（特別講師）

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		援の方法への理解を深める。 アルコール依存症の自助グループについて理解を深める。	奥田
1 2	精神保健に関する予防と対策	アルコール・薬物依存に対する対策と支援について理解する。	奥田
1 3	精神保健に関する予防と対策	ニート・ひきこもりの現状とその対策について理解を深める。 ニート・ひきこもりが抱える課題（社会的背景）についてグループでディスカッションをする。 近年のひきこもり支援についての動画を見ながら、その支援方法について批判する。	奥田
1 4	精神保健に関する予防と対策	高齢者・ターミナルケアに関する課題と精神保健福祉士の役割について理解を深める。	奥田
1 5	海外における精神保健 精神保健学 のまとめ	フィンランドにおける対話による精神科医療の取り組みについて理解を深める。 日本における対話実践についての理解を深める。 WHOが提唱する精神保健の健康について理解を深める。 海外における精神保健の諸活動、実践について知る。	奥田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験 50%

ゲストスピーカーへのリアクションペーパー 各10%

グループプレゼンテーション 30%

【教科書】

新・精神保健福祉士養成講座2．現代の精神保健の課題と支援 中央法規

【備考】

この科目は精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「現代の精神保健の課題と支援」に該当する。

【学修の準備】

- ・授業中の指示したページを読んでおくこと（復習2時間）。
- ・教科書やインターネットなどを活用して、次回の学習課題について予習しておくこと（予習2時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP4 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につける。DP5 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

DP5 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

ソーシャルワーカー

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉施設（母子生活支援施設）、精神保健福祉領域（医療機関）などでの実務経験を活かしアクティブラーニングスタイルで実践的な教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している